



新成人の希望叶い  
53年ぶりに冬開催

# 金ヶ崎町成人式

7 記念品を受け取る副実行委員長の及川大地さん 8 誓いのことばを述べる実行委員長の阿部輝さん 9 新成人3人組のバンド演奏で会場は熱狂 10 地域おこし協力隊とのトークショーでは「金ヶ崎の魅力」について意見を交わしました 12 恩師から激励の言葉が贈られました 13 夢缶を手にもみんなで写真 14 20歳の自分に宛てられた手紙を読む新成人

1 アースくんパーラちゃんも会場を訪れ、新成人を祝福 2 会場には茶道体験コーナーが設けられました 3 受け付けの様子 4 恩師から寄せられたメッセージを眺める新成人 5 金中生からのビデオメッセージに対してエールでお返し 6 11 ステージでの催しに盛り上がりを見せる

して幕を開けました。高橋由一町長は式辞で「未来を築く力が皆さんにはある。金ヶ崎、日本、国際的に活躍する社会人、職業人になつてほしい」と激励。新成人を代表して阿部輝さん、上永沢第二は「成人式を冬開催にしてほしい」という私たちの言葉に耳を傾けてくださった町長をはじめ、ご支援、ご協力いただいた多くの方々へ感謝申し上げます」とあいさつし、また「成人式はこれから大人になるスタート地点であり、大人としての自覚を持つきっかけ。先輩のよい手本となるよう努力を惜しまず、互いに協力し、励まし合って、大人への道のりを歩んでいく」と決意を新たにしました。

式典後は成人式実行委員会主催の「私たちの集い」が開催されました。中学生時代のスライドショーや新成人3人組のバンド「RESSAPANDA」の演奏、地域おこし協力隊と新成人とのトークショーなどが企画され、最後は中学校3年生の時に思い入れの品や20歳の自分に向けた手紙を入れて埋めた「夢缶」を開封。新成人たちの話しが途切れることはありませんでした。

金ヶ崎町の成人式は晴れ着等の費用負担の軽減に配慮するなどの理由から、昭和39年8月から終戦記念日に開催していましたが、冬開催については新成人が冬開催を希望し、独自のアンケート調査も行ったことなどから検討を始めた。そして、町で実施したアンケートで冬開催を希望する回答が多かったこと、なにより新成人の意見を尊重しようということから、53年ぶりに冬の開催となりました。

平成28年金ヶ崎町成人式（町町教育委員会、成人式実行委員会主催）は1月8日、中央生涯教育センターで行われました。対象者235人（男性143人、女性92人）中、114人が鮮やかな晴れ着などに身を包み、晴れ晴れとした表情で大人への第一歩を踏み出しました。

式典は金ヶ崎中学校生徒徒からのビデオメッセージに対して、新成人全員でエール交換を

## Zero金ヶ崎をテーマに —成人式実行委員会—

今年の成人式実行委員会は18人で活動。「冬開催になり、新たな歴史を自分たちで作っていく」という思いを込めて「Zero金ヶ崎」をテーマに設定。昨年7月頃から「私たちの集い」の準備をしてきました。

実行委員長の阿部輝さんは「はじめは人が集まらなくて大変でしたが、回を重ねるごとにまとまりが出てきました。また、実行委員以外からの協力もあり作り上げていくことができ、感謝しています」と話していました。



実行委員の皆さん【前列左から】高橋優希さん、松本千穂さん、佐藤由有さん、高橋穂乃佳さん、菊池珠羅さん、英咲良さん、上野唯さん【後列左から】岡崎琢磨さん、柏大貴さん、及川英樹さん、菊地聖大さん、菅原大貴さん、及川大地さん、阿部輝さん、芳賀悠介さん、小原太朗さん、浅沼侑士さん、菊池優秀さん

## ハタチの抱負を聞きました！

北海道で青果業をしています。店長になって店を任せられるのが目標。

橋山 伸慈さん  
=改断=



ガラス工芸職人になって、伝統と自分の発想を織り交ぜた作品を作りたい。

佐藤 真優さん  
=瘤木=



理学療法士の資格を取って、県内の病院に勤めたい。

土谷 紗季さん  
=清水端=

